

TH28H7B2-88010、88011

第2号様式(表面)(別添4の4.1.関係)

第 平成 年 月 日 号

東邦車輛株式会社 殿

改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)

(指示事項)

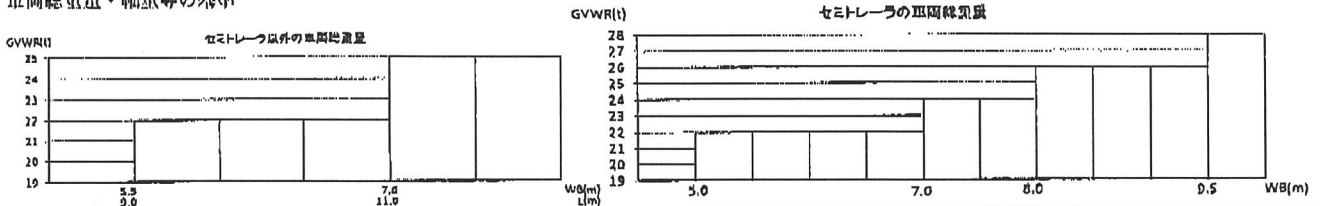
主要諸元比較表

標準車輛の類別等を記載する。

(0794)

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度	
車名	東邦	←		乗車定員人	-	-		
型式	TH28H7B2	TH28H7B2改		最大積載量 kg	20600	20700(6700)		
自動車の種別	普通	←		車両総重量 kg	前前軸重	9915	9590(5380) [9310] (10030 kg)	
用途	貨物	←			後前軸重	9025	9500(-) ≤10t (9885 kg)	
車体の形状	バンセミトラ	←			後中軸重	-	- ≤10t (- kg)	
燃料の種類	-	-			後後軸重	9020	9500(9210) ≤10t(10660) (9885 kg)	
原動機型式	-	-			計	27960	28590(14590) ≤36t(17050) (29790 kg)	
駆動方式(左又は右指出力(体))	-	-		最大安定傾斜角度°	左 40 右 40	*42(計算値) *42(計算値)	一般 ≥35° その他 ≥30°	
長さ m	11.890 (11.320)	12.930 (11.990)	≤13m	タイヤサイズ	前前軸	-	-	
幅 m	2.490	←	≤2.5m		後前軸	11R22.5-14PR	← (-)	(10000 kg)
高さ m	3.750	3.795	≤3.8m		後中軸	-	-	(- kg)
軸距 m	7.960+1.550 =9.510	← (9.510)			後後軸	11R22.5-14PR	←	(10000 kg)
軸距 m	前前輪	-	-	前輪荷重割合	空車	-	-	
	後前輪	1.850	←(-)		積載	-	-	≥18、20%
	後中輪	-	-		リヤ・オーバーハングm	1.740	2.420	≤2/3 (6.340 m)
	後後輪	1.850	←		荷台オフセット m	3.315	3.140(3.915)	
室内又は荷台の内側の寸法	長さm	11.620	12.630	最小回転半径 m		*10.5(*11.0)	≤12m	
	幅 m	2.350	2.410					
	高さm	2.330	2.325					
	車両重量 kg	前前軸重 2100 後前軸重 2630 後中軸重 - 後後軸重 2630 計 7360	2150(2620) 2870(-) - 2870(5270) 7890					

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	kg ≤ 18 t	kg ≤ 20 t	19000kg ≤ 19 t

能力強度等検討			
制動能力	踏力 - N	60km/h	4.71m/s ²
	空気圧	650kPa	
推進軸回転数	車軸強度	$\sigma_b / \sigma = 540 / (81.1 \times 2.5) = 2.66 \geq 1.6$	
	操縦装置強度	$\sigma_y / \sigma = 390 / (81.1 \times 2.5) = 1.92 \geq 1.3$	
車枠強度	緩衝装置強度	$\sigma_b / \sigma = 108103 / (25763 \times 2.5) = 1.67 \geq 1.6$	
	制動装置強度	$\sigma_y / \sigma = 1080 / (203 \times 2.5) = 2.12 \geq 1.3$	
	連結装置強度	×	

- 注1. 能力検討欄は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。
- 注2. 指示事項欄又は能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
- 注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付資料を提示すること。(9.(1)関係)
- 注4. ※印は三菱KL-FP54JDR型トラクタと連結時の計算値を示す。
- 注5. 主要諸元表中()内数値(長さ及び基準・限度欄は除く)は前軸リフト時(1軸使用時)を示す。(併記無し欄は共通)
- 注6. 基準・限度欄の[]内数値は前軸リフト時(1軸使用時)を示す。

R017134

第2号様式（裏面）（別添4の4.1. 関係）

改造等の概要

目的	当該車輛は東邦TH28H7B2型バンセミトレーラ（28国自審第528号新16786号）、類別0794を、貨物の安全輸送をはかるために変更する。 なお、走行装置、制動装置および緩衝装置については車軸アッセンブリ交換である。
車枠及び車体	主レールフロント部高さ0.180mを0.150m、フロント部上フランジ幅0.200mを0.140m、緩衝装置部高さ0.500mを0.430mに変更する。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	アクスルチューブの板厚9mmから東邦TH28H7N2型バンセミトレーラ（29国自審 第1778号新06784号）と同一の14mmの車軸に変更する。
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	イコライザー付きタンデムスプリングサスペンション式から東邦TH28H7N2型バンセミトレーラ（29国自審第1778号 新06784号）と同一のエアサスペンション式に変更する。後前軸は空気圧により車軸を上昇させる装置を有している。
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

注1：変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。

注2：届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法（昭和26年6月1日法律第185号）に基づく勧告、命令を受ける場合があります。（第57条の2、第63条の2、第63条の3関係）

改造等の概要補足説明

車名 車台番号：東 邦 TH28H7B2-88010, 88011

車枠及び車体	<ul style="list-style-type: none">・フロントオーバーハングを0.320m延長する。0.400m → 0.720m・リヤオーバーハングを0.680m延長する。1.740m → 2.420m
制動装置	制動制御装置をEBSに変更する。EBS装置は標準のABSと同一の機能に加えEBS対応のけん引車と連結することにより電気信号によりブレーキの応答時間性能を向上させる装置であり、制動装置の技術基準は標準のABSと同様に満足するものである。

